



TITLE:

表紙・原稿作成要領・編集後記・  
裏表紙ほか

AUTHOR(S):

---

CITATION:

表紙・原稿作成要領・編集後記・裏表紙ほか. 物性研究 2002, 78(6):  
790-791

ISSUE DATE:

2002-09-20

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/97278>

RIGHT:

昭和42年11月14日 第四種郵便物認可  
平成14年9月20日発行(毎月1回20日発行)  
物性研究 第78巻 第6号

ISSN 0525-2997

**vol.78      no.6**

# 物性研究

**2002 / 9**

1. 本誌は、物性の研究を共同で促進するため、研究者がその研究・意見を自由に発表し討論しあい、また、研究に関連した情報を交換しあうことを目的として、毎月1回編集・刊行されます。掲載内容は、研究論文、研究会・国際会議などの報告、講義ノート、研究に関連した諸問題についての意見などです。
2. 本誌に投稿された論文については、原則として審査は行いません。但し、編集委員会で本誌への掲載が不適当と判断された場合には、改訂を求めること、または掲載をお断りすることがあります。
3. 「物性研究」に掲載される論文の著作権は、物性研究刊行会に帰属することとします。但し、著者が著作物を使用することをさまたげるものではありません。
4. 本誌の論文を欧文の論文中で引用する時には、Bussei Kenkyu (Kyoto) **76** (2001), 1. のように引用して下さい。

#### [原稿作成要領]

1. 原稿は、原則として日本語に限ります。
2. 投稿原稿は2部提出して下さい。但し、研究会報告は1部で結構です。
3. 別刷を希望の場合は、投稿の際に、50部以上10部単位で、注文部数・別刷送付先・請求先を明記の上、お申し込み下さい。別刷代金については、刊行会までお問い合わせ下さい。
4. ワープロ原稿を歓迎します。原則として写真製版でそのまま印刷されますので、以下の点に注意して原稿を作成して下さい。
  - 1) 用紙はA4を縦に使用。(印刷はB5になります。縮小率86%)
  - 2) マージンは、上下各約3cm、左右各約2.5cm。1ページに本文34行、1行に全角文字で42字程度にして下さい。
  - 3) 第1ページは、タイトルはセンタリング、所属・氏名は右寄せにして、本文との間に受理日を入れるので、余白を少しあけて下さい。
  - 4) 図や表は本文中の該当箇所に貼り込み、図の下にキャプションを付けて下さい。
  - 5) 体裁については、上記は一応の目安ですので、多少の違いがあってもかまいません。
5. 研究会報告の作成要領については、物性研究ホームページをご覧ください。か、刊行会までお問い合わせ下さい。

〒606-8502 京都市左京区北白川追分町  
京都大学 湯川記念館内  
物性研究刊行会

Tel. (075)722-3540, 753-7051

Fax. (075)722-6339

E-mail busseied@yukawa.kyoto-u.ac.jp

URL <http://www2.yukawa.kyoto-u.ac.jp/~busseied/>

## 編集後記

お盆を過ぎて、少しだけ暑さが和らいだ感がありますが、いかがお過ごしでしょうか。先日帰省をかねて、九州へ車で出かけました。まさにお盆の最中だったので、混雑は覚悟の上でしたが、夜中に走ったにもかかわらず、行きの山陽道は、京都を出てから関門海峡を渡るまで、車の列が無くなる事はありませんでした。知り合いから中国道なら空いていると聞いて、復路は中国道を通ったのですが、こちらはUターンのピークにもかかわらず、私の車の前後に他車がほとんど無いような状態で、行きの混雑は何だったのかというくらい拍子抜けでした。

山口県内のJCTで、山陽道と中国道と別れるのですが、9割方（それ以上かも知れません）の車は山陽道へ、残りが中国道へという感じでした。中国道を走りはじめたときは、ほとんどが山陽道に流れるのは非常に不思議でした。確かに、山陽方面は広島や岡山などの大都市を貫いて走るので、交通量が多いのは理解できるのですが、名古屋や東京ナンバーの長距離トラックまでもが、ほとんど山陽道を選択していました。普通二者択一でそこまで片寄るはずはないだろうに何故だろう、と、ちょっと嫌な予感がしましたが、まあとにかく空いているのならいいか、という事で中国道を走り始めると、案の定予感的中しました。

中国道を運転された事のある方は御存じでしょうが、通行量がほとんどないにもかかわらず、非常に運転しにくく、疲れるのです。半径の小さいカーブが連続して見通しが悪く、起伏が激しく、トンネルも狭く感じました。私などは年にそう何回も通りませんが、毎日運転する長距離ドライバーの方が、山陽道を選択するのは大いに納得できました。

もちろん、後で完成した山陽道の方が、走りやすくするための様々な工夫がなされているのは当然でしょうが、では一旦便利な山陽道が完成した後の中国道の存在価値はどうなってしまうのでしょうか？ 途中のサービスエリアでも、山陽道は夜中でも混雑していましたが、中国道はほとんど利用する人がいないため、早い時間に店は閉められていました。山間を通すために、確かに難工事だったでしょうし、もちろん地元の人にとって便利なものに違いないでしょうが、10年も経たないうちに山陽道が貫通する事が分かっていて作ったとしたら、ちょっと無計画だと言わざるを得ないでしょう。どれくらい採算が取れているのか（取れていないのか）知りませんが、維持費だけでも相当なものなのではないでしょうか。

今まさに道路公団の民営化について、様々に議論されていますが、採算性だけで議

論を進めるのは乱暴かもしれません。しかし、まだ建設予定の所も、本当に将来の事を注意深く考えないと、せつかく町おこしのために道路を誘致しても、通る車が無ければまさに無用の長物です。いや、そもそも、高速が通るから町が発展するという考え方自体がすでに破綻してしまっています。確かに先を見通すのは難しいですし、多くの場合は不可能と言わざるを得ません。が、ちょっと考えれば分かりそうなものを、という様な事が、道路の事に限らず、最近増えているような気がしてなりません。

(M. K.)

## [物性研究]

### 編集長

早川 尚男 (京大・人環)

### 編集委員

池田 浩章 (京大・理・物理)  
 北村 光 (京大・理・物理)  
 中尾 裕也 (京大・理・物理)  
 藤本 聡 (京大・理・物理)  
 加藤 将樹 (京大・理・化学)  
 佐々木 豊 (京大・低温センター)  
 常次 宏一 (京大・基研)  
 大木谷 耕司 (京大・数研)

### 各地編集委員

飯間 信 (北大・電子研)  
 早川 美徳 (東北大・理・物理)  
 藤本 仰一 (東大・教養・基礎科第一)  
 堀田 貴嗣 (原研・先端研)  
 出口 哲生 (お茶の水大・理・物理)  
 永井 寛之 (信州大・理・物理)  
 岡本 祐幸 (分子科学研)  
 倭 剛久 (名大・理・物理)  
 池田 研介 (立命館大・理工・物理)  
 関本 謙 (京大・基研／在フランス)  
 森成 隆夫 (京大・基研／在アメリカ)  
 菊池 誠 (阪大・理・物理)  
 水口 毅 (大阪府大・工・数理工学)  
 市岡 優典 (岡大・理・物理)  
 吉森 明 (九大・理・物理)

E-mail: busseied@yukawa.kyoto-u.ac.jp

URL: <http://www2.yukawa.kyoto-u.ac.jp/~busseied/>

論を進めるのは乱暴かもしれません。しかし、まだ建設予定の所も、本当に将来の事を注意深く考えないと、せつかく町おこしのために道路を誘致しても、通る車が無ければまさに無用の長物です。いや、そもそも、高速が通るから町が発展するという考え方自体がすでに破綻してしまっています。確かに先を見通すのは難しいですし、多くの場合は不可能と言わざるを得ません。が、ちょっと考えれば分かりそうなものを、という様な事が、道路の事に限らず、最近増えているような気がしてなりません。

(M. K.)

## [物性研究]

### 編集長

早川 尚男 (京大・人環)

### 編集委員

池田 浩章 (京大・理・物理)  
 北村 光 (京大・理・物理)  
 中尾 裕也 (京大・理・物理)  
 藤本 聡 (京大・理・物理)  
 加藤 将樹 (京大・理・化学)  
 佐々木 豊 (京大・低温センター)  
 常次 宏一 (京大・基研)  
 大木谷 耕司 (京大・数研)

### 各地編集委員

飯間 信 (北大・電子研)  
 早川 美徳 (東北大・理・物理)  
 藤本 仰一 (東大・教養・基礎科第一)  
 堀田 貴嗣 (原研・先端研)  
 出口 哲生 (お茶の水大・理・物理)  
 永井 寛之 (信州大・理・物理)  
 岡本 祐幸 (分子科学研)  
 倭 剛久 (名大・理・物理)  
 池田 研介 (立命館大・理工・物理)  
 関本 謙 (京大・基研／在フランス)  
 森成 隆夫 (京大・基研／在アメリカ)  
 菊池 誠 (阪大・理・物理)  
 水口 毅 (大阪府大・工・数理工学)  
 市岡 優典 (岡大・理・物理)  
 吉森 明 (九大・理・物理)

E-mail: busseied@yukawa.kyoto-u.ac.jp

URL: <http://www2.yukawa.kyoto-u.ac.jp/~busseied/>

---

物 性 研 究    第 78 卷 第 6 号 (平成 14 年 9 月号)    2002 年 9 月 20 日 発行

発行人	関 本      謙	〒606-8502	京都市左京区北白川追分町 京 都 大 学 湯 川 記 念 館 内
印刷所	昭 和 企 業 組 合 昭 和 堂 印 刷 所	〒606-8225	京都市百万遍交差点上ル東側 TEL (075) 721-4541 ~ 3
発行所	物性研究刊行会	〒606-8502	京都市左京区北白川追分町 京 都 大 学 湯 川 記 念 館 内
年額	19,200 円		

---

## 会員規定

### 個人会員

#### 1. 会 費：

当会の会費は前納制になっています。したがって、3月末までに次年度分の会費をお振込み下さい。

**年会費 9,600円**

1st Volume (4月号～9月号)

2nd Volume (10月号～3月号)

振替用紙は毎年2月号にとじ込んであります。振替用紙が必要な場合は、下記までご請求下さい。郵便局の用紙でも結構です。通信欄に送金内容を必ず明記して下さい。

郵便振替口座 京都 01010-6-5312

#### 2. 送本中止の場合：

送本の中止は年度の切れ目しかできません。次の年度より送本中止を希望される場合、できるだけ早めにご連絡下さい。中止の連絡のない限り、送本は自動的に継続されますのでご注意下さい。

#### 3. 送本先変更の場合：

住所、勤務先の変更などにより、送本先が変わる場合は、すぐにご連絡下さい。

#### 4. 会費滞納の場合：

正当な理由なく1年以上の会費を滞納された場合は、送本を停止することがありますので、ご注意下さい。

### 機関会員

#### 1. 会 費：

学校、研究所等の入会、及び個人でも公費払いのときは機関会員とみなし、**年会費 19,200円**です。学校、研究所の会費の支払いは、後払いでも結構です。申し込み時に、支払いに書類（請求、見積、納品書）が各何通必要かをお知らせ下さい。当会の請求書類で支払いができない場合は、貴校、貴研究所の請求書類をご送付下さい。

#### 2. 送本中止の場合：

送本の中止は年度の切れ目しかできません。次の年度より送本中止を希望される場合、できるだけ早めにご連絡下さい。中止の連絡のない限り、送本は自動的に継続されますのでご注意下さい。

**雑誌未着の場合：発行日より6ヶ月以内に下記までご連絡下さい。**

## 物 性 研 究 刊 行 会

〒606-8502 京都市左京区北白川追分町 京都大学湯川記念館内

電話 (075) 722-3540, 753-7051

FAX (075) 722-6339

E-mail busseied@yukawa.kyoto-u.ac.jp



物性研究 78-6(9月号)目次

○研究会報告

「動的システムの情報論」..... 649

○修士論文(2001年度)

剛体粒子による流れの統計力学的シミュレーション.....石渡 竜也..... 717

量子ドット・Aharonov-Bohm リング複合系における電子のコヒーレンス  
.....相川 恒..... 752

○編集後記..... 790

物性研究 78-6(9月号)目次

○研究会報告

「動的システムの情報論」..... 649

○修士論文(2001年度)

剛体粒子による流れの統計力学的シミュレーション.....石渡 竜也..... 717

量子ドット・Aharonov-Bohm リング複合系における電子のコヒーレンス  
.....相川 恒..... 752

○編集後記..... 790